

**製品名: NR2C2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM86131**

研究使用のみ

**概要**

|        |   |
|--------|---|
| 説明     | マウスモノクローナル抗体                                      |
| 宿主     | ねずみ   |
| 応用     | WB  |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット  |
| 標識     | 非共役   |
| 修飾     | 未修正   |
| アイソタイプ | Mouse IgG2b                                       |
| クローン性  | モノクローナル   |
| 形態     | 液体  |
| 濃度     | 1mg/ml  |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋  |
| バッファー  | 0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。                   |
| 精製     | アフィニティー精製   |

**応用**

|      |                 |
|------|-----------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000 |
| 分子量  | 65.4kDa         |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | NR2C2   |
| 別名           | Nuclear receptor subfamily 2 group C member 2, Orphan nuclear receptor TAK1, Orphan nuclear receptor TR4, Testicular receptor 4, NR2C2, TAK1, TR4 |
| 遺伝子 ID       | 7182.0  |
| SwissProt ID | P49116  |
| 免疫原          | この抗体は、ヒトのアミノ酸間の KLH 結合合成ペプチドで免疫化されたマウスから生成されません。  |

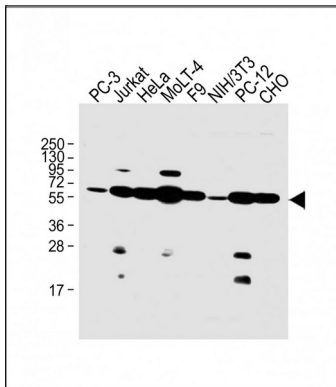
**背景**

転写の抑制因子または活性化因子として作用する希少核内受容体。レチノイン酸受容体、レチノイド X、ビタミン D3 受容体、甲状腺ホルモン受容体、エストロゲン受容体などの核内受容体シグナル伝達経路の重要な抑制因子。精子形成後期の遺伝子発現を制御する可能性がある。NR2C1 とともに、GATA1 の転写を含む胚および胎児グロビン転写を抑制する DRED（直接反復赤血球決定配列）複合体の中核を形成する。2つの 5'-AGGTCA-3' ハーフサイト直接反復コンセンサス配列からなるホルモン応答エレメント（HRE）に結合します。初期胚発生および胚性幹細胞において基本的な役割を果たします。正常な精子形成および小脳の発達に必要です。神経発達の制御された行動に重要であると考えられます（類似性による）。LHCG の転写活性を活性化します。PPARA を介したトランス活性化の拮抗薬。

## 研究分野

-

## 画像データ



全レーン：抗 NR2C2 抗体 (1:1000 希釈)